2024年国政監査：文化体育観光委員会

2024.10.24 国会議事堂、ヨイド

「国会をそんなに甘く見ているつもりですか？」

チョン・ジェス 전재수 (共に民主党、文化体育観光委員会委員長)

ミン・ヒョンベ 민형배 (共に民主党)

ユ・インチョン 유인촌 (文化体育観光部長官)

パク・ジョンハ 박정하 (国民の力)

証人キム・テホ 김태호 (HYBE最高執行責任者、BELIFT LAB代表、1974年生)

TRANSCRIPT ARCHIVE

文書公開日：2025年01月05日

この文書は個人的な鑑賞用として作成されており、その正確性は保証されません。
韓国語の原文と照らし合わせてご確認ください。
パソコンまたはアプリでの閲覧をお勧めします。
13NEVERDIE

---

01. HYBEの内部業界動向報告書

02. HYBEのアルバム押し込み販売

03. NewJeans企画案の盗用

04. 第2次質疑：時計仕掛けのキム・テホ

05. 「業界動向レポート」に関する追加内容

06. 5月17日付「業界動向レポート」と「アルバム押し込み販売」に関する立場

07. HYBE公式脅迫文

08. 国監場に伝わった脅迫文のニュース

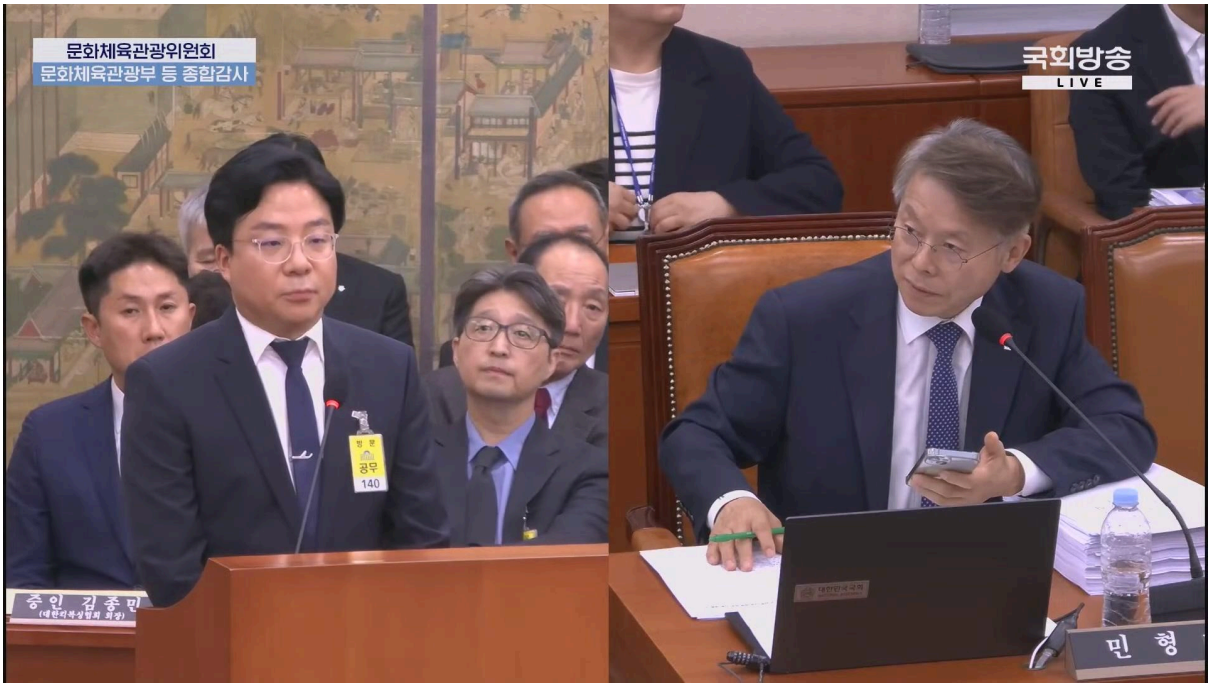
09. キム・テホHYBE最高執行責任者の謝罪

参考資料：国会での証言・鑑定等に関する法律

動画リンク（35:00）

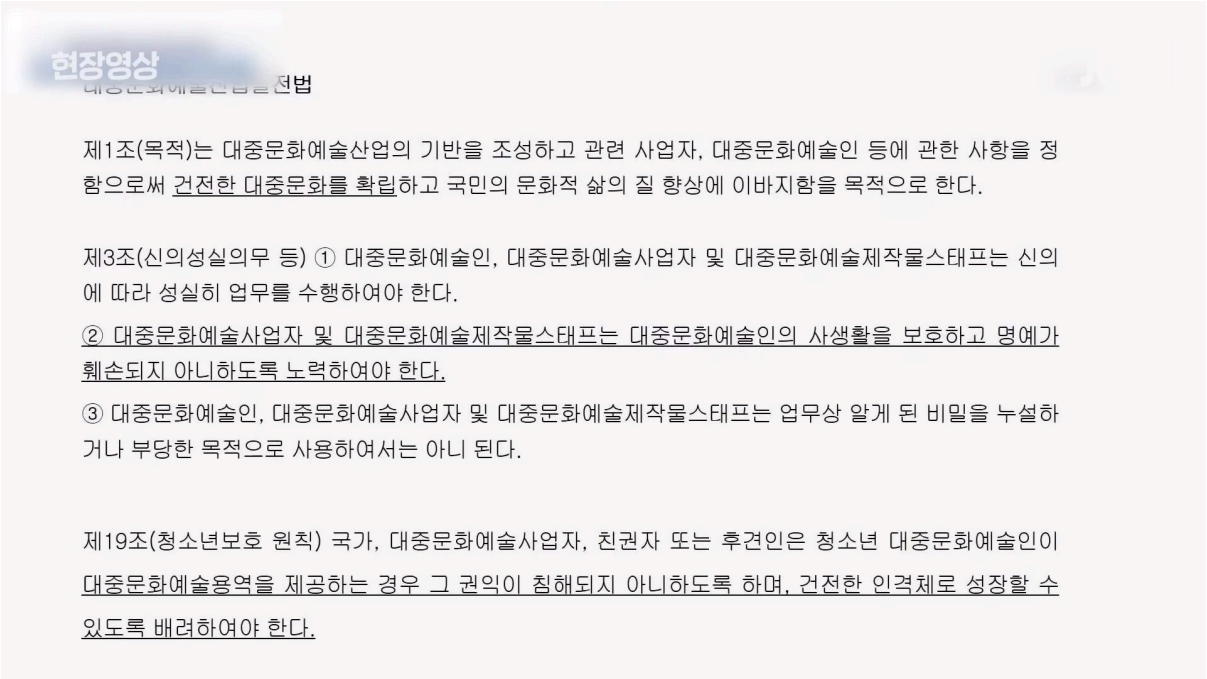
※ キム・テホの発言をまとめた映像がなかったため、個人で編集しアップロードしました。

※ 国会放送は音声不良があったため、チャンネルAの映像を使用しています。



01. HYBEの内部業界動向報告書

ミン・ヒョンベ：はい、キム・テホ代表、証人としてご出席いただきましたね。こちらへお越しください。お忙しい中お時間を割いていただき、ありがとうございます。証人は大衆文化産業法という法律をご存知ですよね？ その中に信義誠実の義務があることもご承知ですよね？



キム・テホ：はい、知っています。

ミン・ヒョンベ：HYBEには信義誠実の義務がありますよね？しっかりと守っていらっしゃいますか？

キム・テホ：最善の努力を尽くして守るよう努めています。

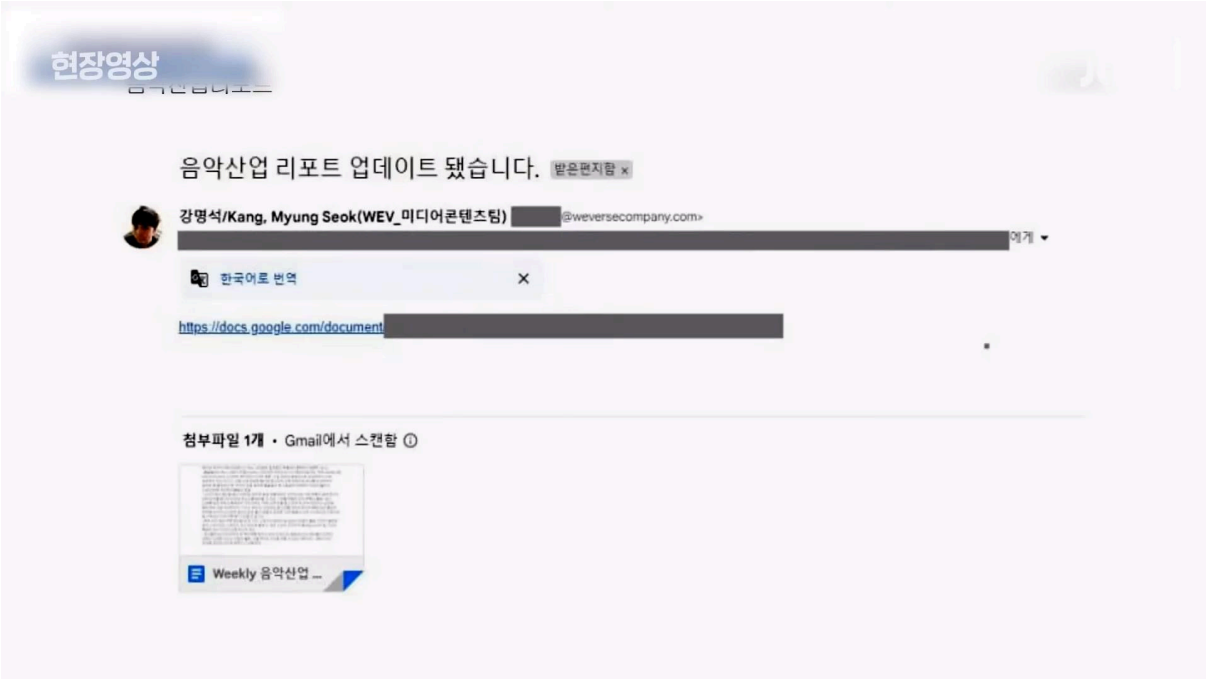
ミン・ヒョンベ：HYBEのサステナビリティ経営報告書を拝見しましたが、人権経営を明確に打ち出していますね。それも確実に実行できていますか？

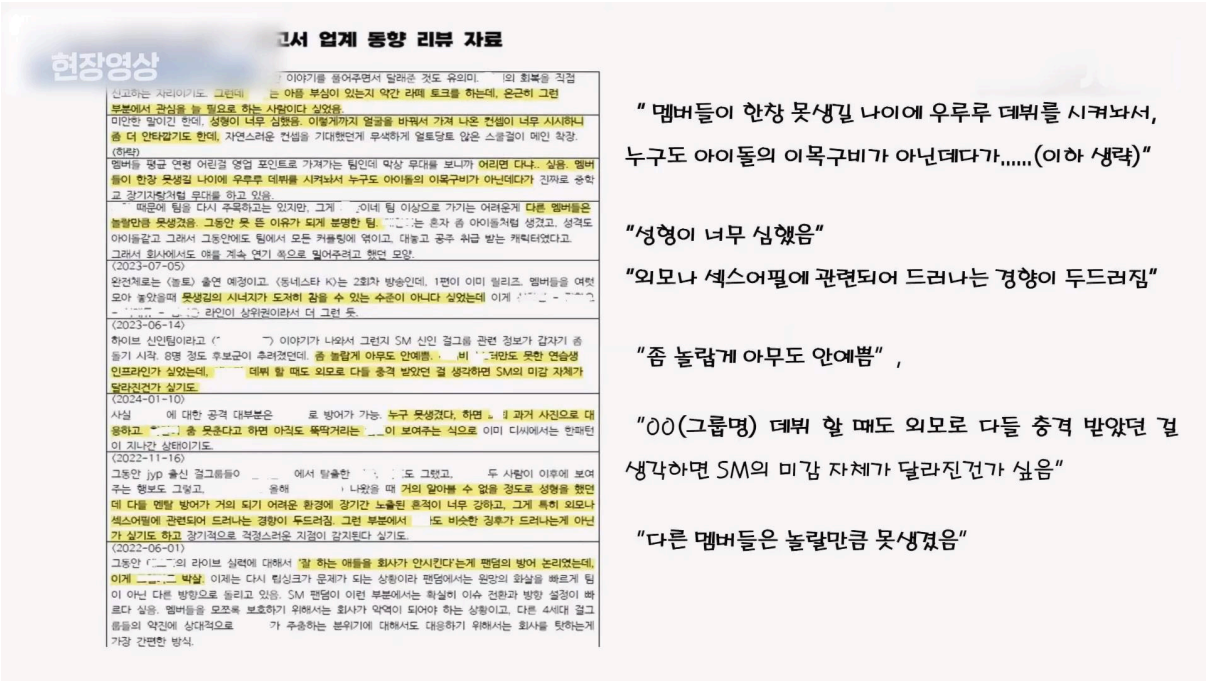
キム・テホ：はい、知っています。

ミン・ヒョンベ：いいえ、実行しているのか’と伺っています。

キム・テホ：あの、私たちが対外的に発表したメッセージを遵守するために、内部的に多くの努力を尽くしています。

ミン・ヒョンベ：ちょっとご覧になってください。今から私たちが入手したPTを見せていただきます。





" 멤버들이 한창 못생길 나이에 우루루 데뷔를 시켜놔서, 누구도 아이돌의 이목구비가 아닌데다가.....(이하 생략)"

"성형이 너무 심했음"

"외모나 섹스어필에 관련되어 드러나는 경향이 두드러짐"

"좀 놀랍게 아무도 안예쁨" ,

"00(그룹명) 데뷔 할 때도 외모로 다들 충격 받았던 걸 생각하면 SM의 미감 자체가 달라진건가 싶음"

"다른 멤버들은 놀랄만큼 못생겼음"

ミン・ヒョンベ：ウィークリー産業音楽産業レポート。これは会社で使用する公的文書ですよね？報告書ですよね？

キム・テホ：はい、弊社で…

ミン・ヒョンベ：あれをご覧ですね？あれを見ていますよね？あのようなものを見て、毎週閲覧して議論する理由は何ですか？

キム・テホ：私たちはK-POP産業に携わっている会社として、私たちのファンと、そして私たちの業界が、私たちHYBEに所属しているアーティストおよび私たちK-POP全般について、どのような世論を持っているのかを毎週注意深く見ています。そしてそのような過程の中で、今お見せいただいた文書は、そのうちの一つ、であると思います。

ミン・ヒョンベ：私が何個かを編集しておきました。今かなり多くを？しかしあそこを見ると、本当に情報が原色的で露骨な誹謗、容姿評価といったものが満ちています。例を挙げてみましょうか？「メンバーたちが一番不細工な年頃にぞろぞろとデビューさせておいて、誰一人アイドルらしい顔立ちをしていない上に、容姿やセックスアピールに関連して露わになる傾向が目立つ。驚くべきことに誰も可愛くない。〇〇グループがデビューする時も容姿で皆ショックを受けた。他のメンバーたちは驚くほど不細工だ。」全部ご覧になったことがありますよね？

キム・テホ：今おっしゃっていただいたあの文書の内容を私が記憶しているわけではないのですが…

ミン・ヒョンベ：内部報告書で間違いないのですが？

キム・テホ：私たちがそのようなモニタリング資料を多く作成しており、多く検討しているため…

ミン・ヒョンベ：これが全て、この役員用報告書に、今これらが全て未成年で構成されたグループに対するものだということはご存知ですか？

キム・テホ：先ほど申し上げたように、あれは私たちHYBEの意見でもHYBEの公式的な判断でもありません。オンライン上にあった多くの書き込みを私たちがモニタリングするために集め、そのようなものを総合した内容として私は見ています。

ミン・ヒョンベ：いいえ、いいえ、それをモニタリングして「ウィークリー音楽産業レポート」というものを作成しているじゃないですか？会社で？

キム・テホ：はい、弊社で…

ミン・ヒョンベ：なのになぜ他人のものだと言うんですか？自分たちが集めて報告しているものなのに。自分たちが作成した…

キム・テホ：今お見せいただいたあの内容が…

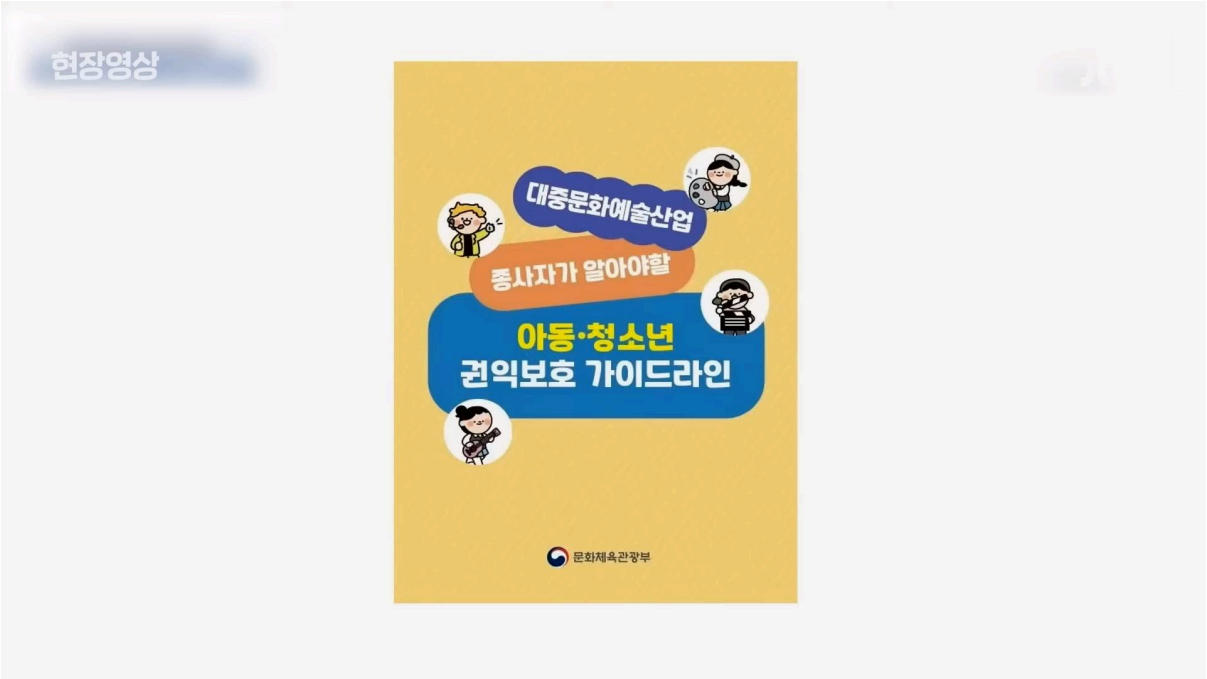
ミン・ヒョンベ：いいえ、その報告書に入っている内容だと言っているんです？その報告書に入っている内容を私が読み上げたんです。容姿評価、質の低いいわゆるこういった表現。でもこれが問題は未成年に対するものなんです。このアイドルに対する非人格的なこのような認識と態度があの報告書に満ちているので、その問題提起をしているんです。HYBEだけこうなんですか？

キム・テホ：私が他社の状況はよく分かりません。

ミン・ヒョンベ：これは今、大衆文化産業法の信義誠実義務に違反したということです。もしかしてご存知ですか？

キム・テホ：私はそのようには考えていません。

ミン・ヒョンベ：そうですか？では次のPPTを見てみましょう。



ミン・ヒョンベ：長官、文体部（文化体育観光部）長官。

ユ・インチョン：ええ、はい。

ミン・ヒョンベ：今年3月にコンテンツ制作現場での児童・青少年の権益保護ガイドラインを配布されましたよね？

ユ・インチョン：はい、その通りです。

ミン・ヒョンベ：その中には児童・青少年に対して、暴言や罵詈雑言、体罰はもちろん、容姿などを評価するような言動も行ってはならない、と明記されていますよね？

ユ・インチョン：はい、その通りです。

ミン・ヒョンベ：ところが、今私がお見せした報告書は、このガイドラインと全く合致していませんが、どうしてこんなことになっているのでしょうか？

ユ・インチョン：さあ…今おっしゃっているところを見ると、外部で他者が書いたものを集めたものだと説明されていますが、私は…

ミン・ヒョンベ：自社の報告書ですよ。内部報告書です。

ユ・インチョン：表現があまりに過激ですね、これは。

ミン・ヒョンベ：あのようなやり方は許されないはずですよね。

ユ・インチョン：ええ、そうした表現を自社内の、いわば従業員や家族同然の相手に向けるのは、行き過ぎなのではないかと感じます。

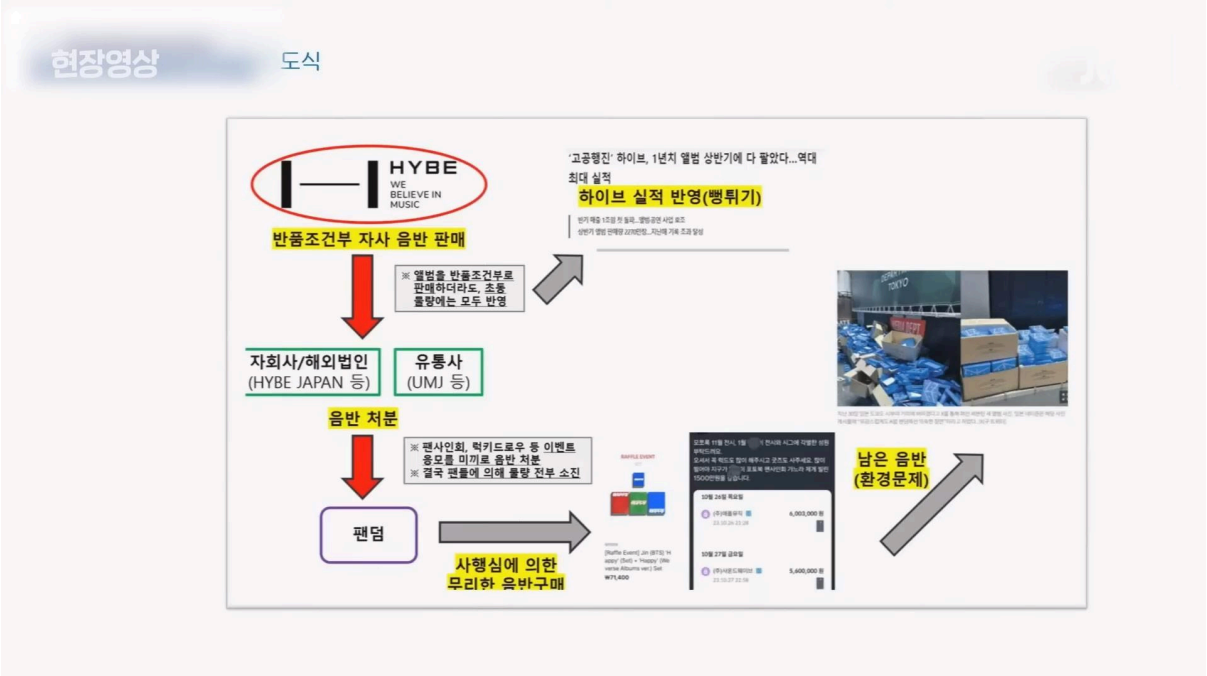
ミン・ヒョンベ：そうですよね？デリケートな部分は私たちがあそこを全て隠しました。個人情報を全て隠しましたが、あの表現だけを見ても直ぐに分かるでしょう。私たちがとにかく隠して隠して慎重に扱ったのがあれなのですが。良いでしょう。とにかくそのような部分をよくご覧になっていただきたいと思います。

02. HYBEのアルバム押し込み販売

ミン・ヒョンベ：それからもう一点、いわゆる“アルバム押し込み販売”という手法をご存知でしょうか？

キム・テホ：はい。どのような概念でおっしゃっているのかは理解しています。

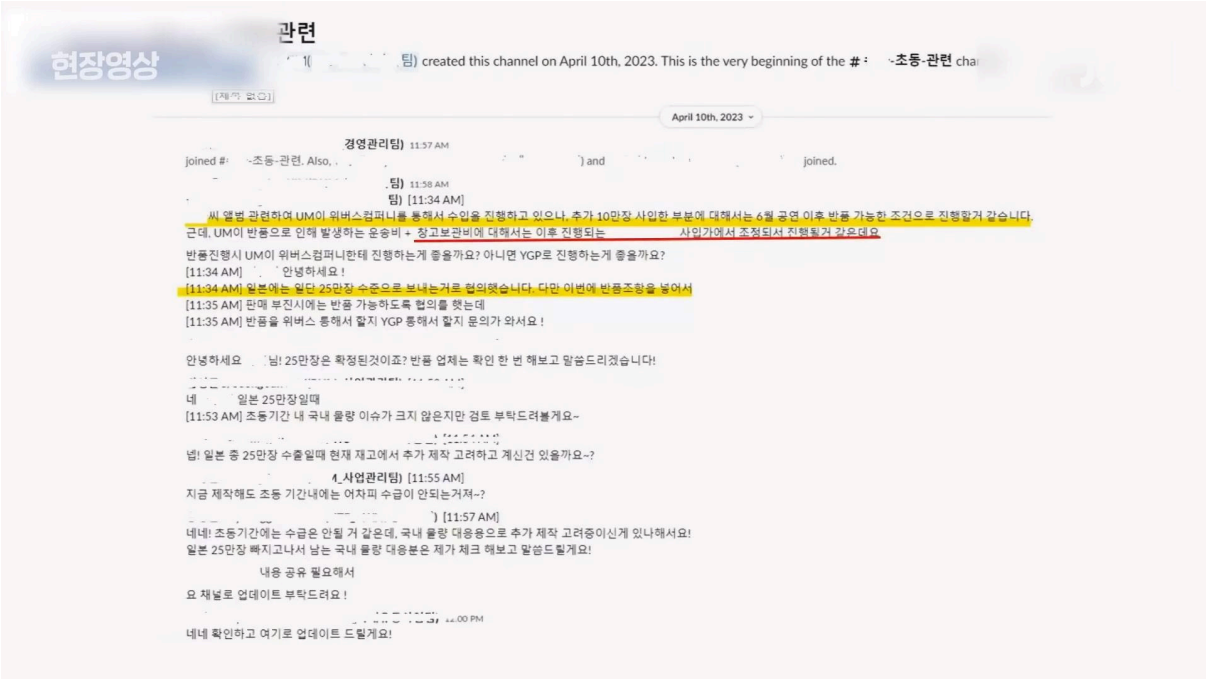
ミン・ヒョンベ：あれをちょっと見てください。



ミン・ヒョンベ：HYBEが初動販売量を上げるためにアルバムの押し込み販売をする方法が二つ現れていますが、一つは左側のアルバムを返品条件付きで販売する場合。もう一つはファンサイン会やラッキードローなどのイベント応募を餌にアルバムを処分する場合。やっていますよね、今？

キム・テホ：あの、私たちが返品条件付きでアルバムを押し込んだり販売したことはありませんし、私たちは今年初めにもこれに関連する問題提起が一部あったため、内部で私たちが監査を進めました。私たちが2023年に販売したアルバムの0.何パーセント程度の数量だけ、私たちが返品が起こるように契約が、可能だった、そのような構造で販売されていたことが確認されたため、返品条件付きで私たちがアルバムを販売したことはありません。

ミン・ヒョンベ：それでは私が内部資料をもう一つお見せしましょう。表示してください。



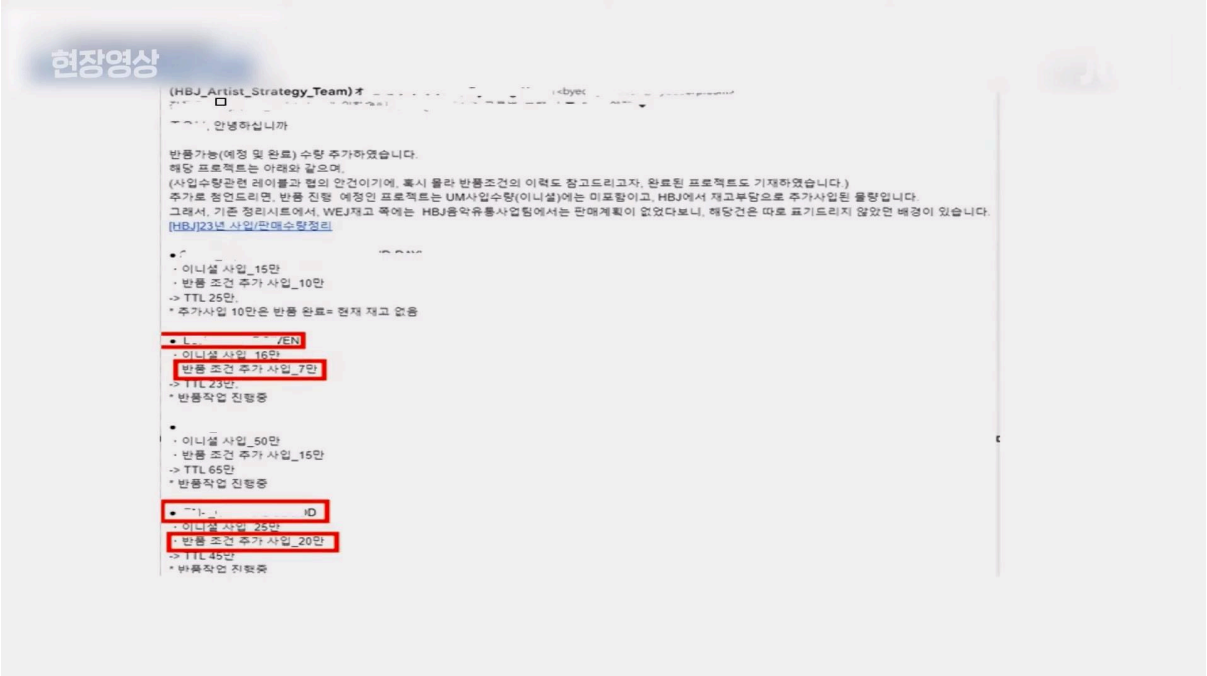
ミン・ヒョンベ：2024年1月4日付のメールです。ここを見ると「返品進行予定プロジェクト」とはっきりと表現されていますよ。

キム・テホ：今おっしゃっていただいたまさにこの内容が、私が先ほど申し上げた、私たちが…

ミン・ヒョンベ：2023年だと言いましたよね？

キム・テホ：二件があった内容です。2023年に販売されたアルバムに対する返品が2024年初めに行われ、この内容を私たちが見て今後はこのような方式の販売ができないよう…

ミン・ヒョンベ：ではもう一つお見せしましょう。PPTを表示してください。



ミン・ヒョンベ：これは返品条件追加物量がアルバム最小7万枚、最大20万枚程度になるのですが、これは何ですか？

キム・テホ：私たちがこのような議論が行われていることを確認してから、このようなことがあってはならないため、今おっしゃったこの内容に該当する…

ミン・ヒョンベ：以前はやっていたが、今はやっていないということですか？

キム・テホ：先ほども申し上げたように、私たち会社の方針ではない「実務者たちの判断」で一部返品が行われたことを私たちが確認し、そして会社の規定で二度とこのような形態の販売が行われないようガイドラインを制定いたします。

ミン・ヒョンベ：今後は一切ないということですか？

キム・テホ：はい、ありません。

ミン・ヒョンベ：持続可能経営、人権経営。このようなものと少し合わないじゃないですか？私が二つの事例を今申し上げましたが。

キム・テホ：おっしゃっていただいたように、ご懸念される点はよく理解しております。私たちに不足している部分があったとすれば、そのような部分についてご心配なさることが起こらないよう、改善されるよう努力いたします。

ミン・ヒョンベ：これは市場撹乱行為になるじゃないですか。

キム・テホ：実際に押し込み販売がなかったため、私たちが市場を撹乱したことはないと…

ミン・ヒョンベ：いえ、こちらは“あった”ことを示しているのに、“なかった”とおっしゃるのはどういうことですか？

キム・テホ：……返品条件付きで当社が販売したアルバムの数量は、市場全体を撹乱したり、当社の販売に有意な影響を与えるほどのものでは、全くありませんでした。

ミン・ヒョンベ：長官。

ユ・インチョン：はいはい。

ミン・ヒョンベ：今を見ると、初動物量を膨らませて、チャートランキングを広報するのは公正な流通ではありませんよね？

ユ・インチョン：その通りです。

ミン・ヒョンベ：先日7日の国政監査の時に、このようなアルバムの押し込み販売の告発があった場合は調査すると、そのようにおっしゃいましたが…

ユ・インチョン：はいはい。

ミン・ヒョンベ：今ご覧になってはいかがですか？

ユ・インチョン：ええ、まあ…私が見るところ、HYBEのような企業は、もはや国内企業とは言えない存在です。

ミン・ヒョンベ：そうですね？

ユ・インチョン：国際的な企業であり、事実上、大韓民国を代表する企業なのに…

ミン・ヒョンベ：だからこそ、より懸念されるのです。

ユ・インチョン：このようなことをしてはいけませんよ。はい。そのように考えています。

ミン・ヒョンベ：これは文体部でしっかりと見ていただく必要があると思います。

ユ・インチョン：はいはい。

ミン・ヒョンベ：K-コンテンツの国際競争力を考えても、このような一種の操作のようなものが起これば非常に不利になるでしょう。

ユ・インチョン：はい。

ミン・ヒョンベ：HYBEだけの問題ではなく、全体の国内...

ユ・インチョン：その通りです。

ミン・ヒョンベ：K-POP、K-コンテンツの問題なので、文体部で正確にやっていただければと思います。

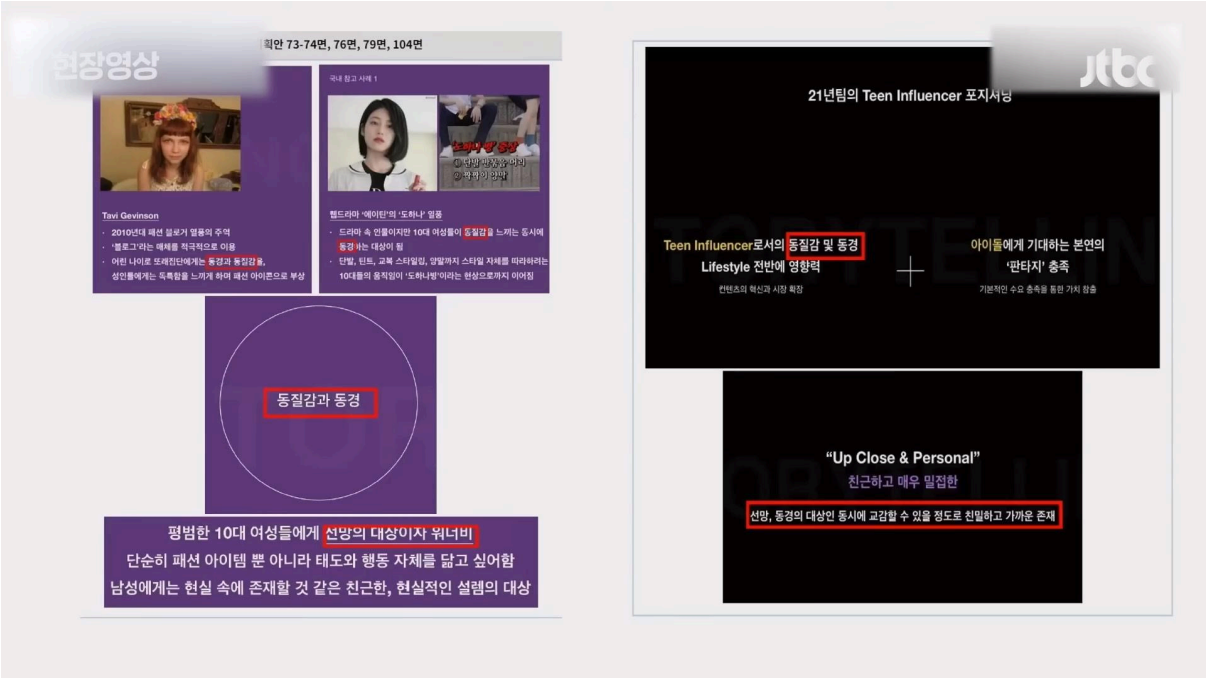
ユ・インチョン：議員がご指摘なさったこの事項を徹底的によく確認するようにいたします。

03. NewJeans企画案の盗用

ミン・ヒョンベ：キム・テホ代表、もう一つだけ。このようなところには私たちが介入しない方が良いのですが、このBELIFT LABがNewJeansの企画案を盗用したという疑惑について、どうお考えですか？

キム・テホ：事実ではありません。

ミン・ヒョンベ：あれを見てください。ご覧ください。あのように証拠を示す方々が少なからずいるようですが。



キム・テホ：この件については、BELIFT LAB代表として私から少しお話しさせていただきますと、この問題を提起したミン・ヒジン前代表に対して、既に民事・刑事上の訴訟を起こし、告訴している状況です。そのため、司法部の判断を私たちは待っており、関連する手続きを適切に順守しながら、これが事実ではないということを証明できる様々な資料や根拠を法廷を通じて明らかにしたいと思います。この点についてはご理解をお願いいたします。

ミン・ヒョンベ：どのような場合でも、このような論争が起こり、論難となり、社会的な問題になること自体が、そんなに望ましくは見えないのですが？

キム・テホ：今おっしゃった部分が、私が本当に申し訳なく思っている部分です。多くの方々に今年起こった一連の出来事のために多くの疲労感を私たちが与えていて、このような問題が二度と繰り返されず、よく解決できるよう努力いたします。

ミン・ヒョンベ：私が三つの問題提起をしましたが、それについて、もしかしてこのファンの皆さんや国民の皆様にお伝えしたいことはありませんか？

キム・テホ：先ほど申し上げたように、大きな疲労感を与えた点については本当に申し訳なく思っております。私たちエンターテインメント企業に課せられた本来の使命は、ファンの皆様や国民の皆様に楽しさをお届けすることだと考えております。...今年、当社に多くの課題があったのは紛れもない事実で...今後は、このような事態が再び皆様に疲労感をもたらすことのないよう、一層努めてまいります。

04. 第2次質疑：時計仕掛けのキム・テホ

チョン・ジェス：次は、ミン・ヒョンベ 委員の質疑をお願いいたします。

ミン・ヒョンベ：キム・テホ証人、お尋ねします。こちらへお出でください。ここは国政監査の場で、証人宣誓もされました。偽証は許されませんよ。

キム・テホ：はい、承知しました。

ミン・ヒョンベ：先ほど証人がおっしゃったことがあって、私が一部資料を持ってきました。これがその報告書ですが、これは「ただ寄せ集めたもので、内部の公式文書ではない」とのことでしたね。しかし今年、それを“意見を提案するための内部用文書”と公式に発表したそうです。私がこれを公表しましょうか？

キム・テホ：私が国政監査中に会社とどのような連絡があったのか確認できず、現時点で…

ミン・ヒョンベ：おや、これが、これ！私が一部だけコピーして持ってきたのですが、このまま公表しましょうか？それでも「私たちとは無関係で、外部で流通している情報を集めただけだ」「内部文書ではない」とおっしゃれますか？

キム・テホ：先ほど私が内部文書ではないと申し上げたことはありません。

ミン・ヒョンベ：意見が入る！

キム・テホ：確かに私どもの内部で作成・共有した文書ですが、その目的は、K-POPファンがHYBEのアーティストや業界に対してどのような考えを持っているか整理することで…

ミン・ヒョンベ：ではなぜ、そこにそのような表現を用いるのですか。私はその点を質問しているのに、話をそらすのですか？

キム・テホ：先ほどお見せいただいた文書の内容は、私たちが内部で直接書き起こしたものではなく、実際に出回っている…

ミン・ヒョンベ：いえ、内部で作成した文書だとおっしゃったばかりでしょう？ここには意見が満載ですよ！では一つ伺います。これを作成したのはウィバースマガジンですね？

キム・テホ：ウィバースマガジンに携わる複数の担当者が交替で作成していると認識しています。

ミン・ヒョンベ：バン・シヒョク”会長が、編集長にこれを作って報告するよう指示したのではありませんか？

キム・テホ：私はその部分を担当していないので、正確なことは申し上げかねます。

ミン・ヒョンベ：だからバン・シヒョク”会長を来いと言ったら、代わりに来て答えるといって来たのではないですか？でもそのように話をするとどうするんですか。もう一度お尋ねします。ここに出てくる10代青少年たちに対する、これが文化産業法の基本趣旨に反する不適切な内容があふれていました。認めますか？

キム・テホ：申し訳ありませんが、今、議員がお持ちのその文書を私が今見ることができない状態なので...

ミン・ヒョンベ：いえ、皆さんが日々、週単位で受け取っているというその報告書ではありませんか？だから私がここから抜粋してさっき申し上げたんです？つまり私これを公表してよろしいですか？HYBEが様々なK-POPコンテンツを制作するこのような方々についてどのように評価しているのか公開しましょうか？

キム・テホ：私が先ほども申し上げましたが、私たちが毎週共有を受けている資料は実は少なくありません。私もBELIFT LAB代表としてBELIFT LAB内部で作成したモニタリング文書を見ておりますし。議員がお持ちのその文書がそのうちのどの部分をお持ちなのか、私が分からないので、その文書が公開してもいい文書なのか、それとも公開してはいけない文書なのか、私が今申し上げにくい点は少し理解をお願いいたします。

ミン・ヒョンベ：ガールグループたちやアーティストたちについての情報が、本当に私たちが見るにはどうしてこのようなことができるのかと思うほどのことをしたような内容があって、公開をしていないんです今。しかし、しきりに「私たちはこのようなものをただ回っている意見だけを拾い集めた」のではなく、HYBEの意見がここに多数入っているので。そしてその意見開陳が非常に不適切な言語が駆使されているので、私が今これを持ってきたんじゃないですか？違うとおっしゃるから。

キム・テホ：私が確認した文書の記憶を辿ってみると、世間の評価とファンの立場を整理して、その部分について...

ミン・ヒョンベ：だからその評価と意見の表現が非常に不適切だから私が先ほどお見せしたじゃないですか。そのようなものが入っているから。今後もこのようなことを続けるおつもりですか？これはコンテンツ、K-POPが世界的な文化商品になっているのに、これは文化産業に非常によくない影響を及ぼすと思うのですが、どうされるおつもりかとそれで聞いたんです。

キム・テホ：先ほど議員に私が答弁申し上げましたが、議員がご懸念される部分を私が今日正確に理解しましたので、今日のこの国政監査が終わって会社に戻れば、今ご指摘いただいたそのような問題点を改めて確認し、実際の問題が再発しないよう準備する努力は私が誠実に尽くしてまいります。

ミン・ヒョンベ：それなのに、なぜこれが自社の公式文書ではないとか、私たちの見解ではないとおっしゃるのですか？

キム・テホ：先ほど私が私たちの文書ではないと申し上げたことはありません。私たちの文書だとは確かに申し上げましたし、先ほど議員がモニターに表示してお見せになったその内容が、私たちが私たちの立場やHYBEの見解を書いたものではないと申し上げました。

ミン・ヒョンベ：ああ、キム・テホ証人はわざとややこしくなさっているんですね。そこから出てきた内部文書を私が持って申し上げているのに、しきりにそれが私たちの文書ではないとおっしゃり、また私たちの文書であることは認めつつも、それが私たちの見解ではないとおっしゃるわけですね？

キム・テホ：私は一貫して同じことを申し上げています。私たちが作成した文書に間違いありませんし。先ほど議員がご質問なさるやいなや、すぐに私が私たちが内部で見ていた文書に間違いないと申し上げましたし。しかし先ほどお見せいただいたその資料に言及されていた内容は...

ミン・ヒョンベ：その内部文書に入っている表現を私がお見せしたんですよ。

キム・テホ：はい。でも私たちが該当アーティストや、あるいは今私も匿名処理されてその文書を今思い出せませんが、私たちがそのような見解を内部で公式的な…

ミン・ヒョンベ：この数多くのアーティストたちに対する評価を、HYBEの評価をそのまま露わに示しましょうか？公表して差し支えありませんか？

キム・テホ：私がどのような文書をお持ちなのか分からないので…

ミン・ヒョンベ：HYBE文書ですよ！今申し上げているのにそうですね。はぁ…「ウィークリー音楽産業レポート。週間報告動向報告」。業界動向をこのように続けることはできることですが、その中で使用された言語とこのアプローチ方法と順序とこのようなものが非常に無分別になっている。私が公開するのかと今聞いているんです。

キム・テホ：その点につきましては、申し上げるのが難しい状況でして、改めてご理解をお願い申し上げます。

ミン・ヒョンベ：公開できないので、しない方が望ましいので、していないんです。しかしそれをHYBEでそのようなことをやってきたので、今後そのようにしないと、間違いました、謝罪して今後これを改善します。そうおっしゃればいい話なのに、しきりにこれを逸らそうとなさるんですか？

キム・テホ：私は明確に申し上げますが、議員がご懸念される地点を今日お話を私が聞きましたので、それが実際に問題であれば、私たちは当然解決しなければならない責任があると思っておりますし…

ミン・ヒョンベ：先ほどの押し込み販売も同じです。ここにそのような内容も、私がここに下線を引いたものだけでも数多くあります。しきりにやっていないとおっしゃるので、私がこれを持ってきたんです今。

キム・テホ：私どもは押し込み販売を行った事実は一切ございません。

ミン・ヒョンベ：はい。全ての今のマスコミが押し込み販売をしたことはないと公式否認だとおっしゃっています。後でこれが事実として明らかになれば、HYBEにどのような状況になるか分かりませんが、正確に答弁してください。私が先ほどやり取りしたトークやこのようなものを全てお見せしたじゃないですか。それなのにそれを違うとおっしゃるんですか？

キム・テホ：先ほど私たちにお見せいただいた文書は、私たちが返品条件付きの実務協議をしているメールを...

ミン・ヒョンベ：それがそれじゃないですか。それが、それが押し込み販売じゃないですか。

キム・テホ：私たちがその状況について既にその内容を確認した...議員がおっしゃったその時点に既にそのような形態の業務協議は不可能だという立場を明確に全構成員に通知し、そしてそのようなものが通知されていた内容は既に今年初めに私たちが一度明らかにしたことがありました。そのため私たちが全体、もしかすると私たちも知らない状況でこのようなことが起きていなかったかと懸念されたため、私たちが内部的に全数検査をしたことであり、そのうち私たちが昨年販売した4千万枚を超えるアルバムのうち1%にも満たない物量が返品条件付きで取引されていた履歴が確認され、そのため私たちがその部分を、これさえも許容してはいけないという観点から禁止したのです。そのため私たちは押し込み販売をしたことはないという点を、もう一度明確に申し上げます。

ミン・ヒョンベ：1%では（押し込み販売が）ないんですか？

キム・テホ：1%は全体市場に及ぼし得る影響が非常に限定的でしたが、それさえも私たちが正しくないと考えて、今後は禁止するということを明確に決定し、申し上げたことです。

05.「業界動向レポート」に関する追加内容

スポーツ京郷【単独】HYBE役員用「週間報告書」に他のアイドルへの誹謗内容が多数含まれる
https://m.entertain.naver.com/article/144/0000996540

06. 5月17日付「業界動向レポート」と「アルバム押し込み販売」に関する立場

ミン・ヒジン代表
スポーツ京郷【単独】ミン・ヒジンの「内部告発」はHYBEの「アルバム押し込み販売」だった
https://m.entertain.naver.com/article/144/0000962302

また、ウィバースマガジンのカン・ミョンソク編集長から毎週内部回覧される「業界動向レビュー」文書には偏った、著しく公平性を欠く内容が続いており、ADORは「数値や指標などの事実記載が必要であり、最低限でも客観性を維持するよう求めた」と異議を申し立てたこともあります。

パク・ジウォン代表取締役にも異議を申し立てましたが、「読まなくていい」、キム・ジュヨンCHROには『一個人の意見として受け止めるように』とのフィードバックがありました。も欠如した公信力のない個人の内容が、どのような理由で代表性を持つかのように全社の役員に配布されなければならないのか分かりませんし、その内容の偏向性のために、一種の意図的なプロパガンダ的拡散のために配布したのではないかという疑念さえ生じるほどです。

HYBE

スポーツ朝鮮【公式】HYBE側「アルバム押し込み販売はしていない…ミン・ヒジン、根拠のない疑惑提起」（全文）

https://sports.chosun.com/entertainment/2024-05-17/2024051701001139600016690

業界動向レポートは、チャート成績などの定量指標の他に、消費者の主観的な反応と課題を集めて分析した後、改善意見を提案する内部用文書です。アーティストに対するHYBEの立場や評価を代弁する資料ではありません。この資料をどのように受け止め、利用するかも完全にレーベル各自の自律に任されています。このような性格のレポートであるため、非常に多様な意見が盛り込まれる可能性があり、時には改善点も包み隠さず含まれており、それがこのレポートの存在理由です。むしろ常に称賛一色の分析報告書が出なければ満足できないのなら、そのような分析資料がADORの発展に何の助けになるのか、改めて問いかけたい。

このような趣旨にもかかわらず、ミン代表が昨年初め「（NewJeansの）コンテンツ（音楽、パフォーマンス、ミュージックビデオなど）についてのレビュー（評価）をしないでほしい」と要請して以降、NewJeansについての定性的な評価（質的評価）内容を入れていません。その後、NewJeansについての内容を完全に除外するよう再度要請があり、それ以降は一切の動向取りまとめや定性評価に含めていません。

07. HYBE公式脅迫文

HYBEからお知らせいたします。

本日（24日）国会文化体育観光委員会の国政監査で公開された当社のモニタリング報告書は、ファンダムおよび業界の様々な反応と世論を集約した文書です。

これは業界動向や各種イシューを内部の少数の人員に参考用として共有するため、コミュニティやSNSの反応をありのまま抜粋して作成されたものであり、HYBEの立場ではありません。

該当報告書にはエンターテインメント企業として耳を傾けるべき内容、ファンの肯定的な評価も含まれています。報告書のうち刺激的な部分だけを恣意的につなぎ合わせて、あたかもHYBEがアーティストを批判した資料を作ったかのように見せるよう外部に流出させた勢力に対しては、最後まで責任を追及します。

하이브에서 알려드립니다.

2024.10.24

하이브에서 알려드립니다.

금일(24일) 국회 문화체육관광위원회 국정감사에서 공개된 당사의 모니터링 보고서는 팬덤 및 업계의 다양한 반응과 여론을 취합한 문서입니다.

이는 업계 동향과 이슈를 내부 소수 인원들에게 참고용으로 공유하기 위해 커뮤니티나 SNS 반응을 있는 그대로 발췌해 작성됐으며 하이브의 입장이 아닙니다.

해당 보고서에는 엔터테인먼트 회사로서 귀담아 들어야 할 내용들, 팬들의 긍정적인 평가도 포함돼있습니다. 보고서 중 일부 자극적인 내용들만 짜깁기해 마치 하이브가 아티스트를 비판한 자료를 만든 것처럼 보이도록 외부에 유출한 세력에 대해서는 끝까지 책임을 물을 것입니다.

08. 国監場に伝わった脅迫文のニュース

ミン・ヒョンベ：その…委員長、私が今しがた質疑をして、その後に HYBEがこのような立場表明を行いました。該当報告書ではあれこれして、「まるでHYBEがアーティストを批判した資料を作ったかのように見せるよう外部に流出させた勢力に対しては、最後まで責任を問います」このような立場表明が出てきたのですが、今キム・テホ証人にこれが何を意味するのか聞いてみたいのですが？機会を少しいただけますでしょうか？

チョン・ジェス：はい、演壇にお進みください。私も長時間、証人参考人の方々がこのように不便な席に座っておられるので終わろうと思いましたが、お帰りになればもう聞く機会がありません。そのため演壇に来ていただいたのですから、**ミン・ヒョンベ** 委員は手短に質疑応答をしてください。

ミン・ヒョンベ：もう一度お聞きします。今私が持っているこの資料、HYBE内部文書、自ら作ったものに間違いありませんよね？ここにはHYBEの意見も入っており、他の多くの内容も入っていますよね？私が読んでみたらそのようになっています。そうですよね？

キム・テホ：もしかして今おっしゃったその資料が、先ほど私にお見せいただいた産業レポートとおっしゃったその文書をもしかしてお持ちなのか、私がお伺いしても宜しいでしょうか？

ミン・ヒョンベ：申し上げたじゃないですか。

キム・テホ：その文書であれば私が先ほど申し上げたようにK-POPファンがHYBEアーティストと…

ミン・ヒョンベ：もう一度質問いたします。HYBEの意見と評価がここの中に入っていますか？入っていませんか？

キム・テホ：当然その文書には…

ミン・ヒョンベ：入っていますよね？

キム・テホ：どのような意見がこのように出回っているとか、あるいはこのような意見…

ミン・ヒョンベ：いいえ、間接的な伝言ではなく、引用ではなく、HYBEがここで評価したのを読み上げましょうか？読み上げましょうか？

チョン・ジェス：ミン・ヒョンベ委員、少し整理して…

ミン・ヒョンベ：そして、しかし今、国政監査を行っている最中にHYBEがこのような立場を出しました。「外部に流出させた勢力に対しては、最後まで責任を追及します」とはどういう意味なんですか？

キム・テホ：私が国政監査に出席している間、会社と一切連絡が取れず、よく状況を把握できておりませんで…

ミン・ヒョンベ：これご存じないんですか？今このような立場表明を？

キム・テホ：出すようにと…私は、私はずっと今あそこの証人席に座って…

ミン・ヒョンベ：「該当報告書にはエンターテインメント会社として耳を傾けるべき内容、ファンの肯定的な評価も含まれています。報告書の中の一部刺激的な内容だけを切り貼りして」。私が一部刺激的な内容を抜粋したのは事実ですが、「切り貼りして」？「まるでHYBEがアーティストを批判した資料を作ったかのように」。私がこのように質問しましたか今日？HYBEが批判した資料だと言いましたか？HYBEの内部文書にこのアーティストたちに対する表現が非常に不適切なものが含まれている。ここを見れば肯定的な内容も多くありますよ…

チョン・ジェス：ミン・ヒョンベ 委員、少々お待ちください。長くなりそうですので、委員長である私が少し割り込んで整理させていただきたいと思います。代表、今、憲法と法律に基づいて国政監査が進行されています。そして国政監査で証人としてご出席され、十分にお話しいただける機会がこの場にあります。それにもかかわらず、国政監査が進行中であり、国政監査委員が代表証人に質疑応答している内容について、会社があのような形で対応することは極めて不適切であるという言葉を、委員長として申し上げざるを得ません。謝罪なさるべきではないでしょうか？いったいどうして今国政監査が進行中なのに、あのような形で立場表明を出せるのですか？あのような形で立場表明を出すことは、この国政監査を形骸化するものです。

キム・テホ：大変申し訳ありませんが、実は私は今ミン委員がおっしゃっていた、その私どもHYBEの立場表明というものを見ておりません。

チョン・ジェス：立場表明を今ミン・ヒョンベ委員が読み上げたではありませんか？

キム・テホ：それが全て読まれたのか、それとも私が部分を抜粋されたのかも、私は情報が全くなくて私が...

チョン・ジェス：どのような形であれ、どのような形であれ、国政監査が進行中なのに、国政監査委員の、文体委員の証人として我々委員会が採択して出席され、質疑応答が進行している最中に、会社がどのような形であれ立場表明を出して、まるでこの国政監査を無意味なものにしたり、国会の権威をこのようにしてよいものでしょうか？ さらに、HYBEは大韓民国のK-コンテンツを牽引する代表企業ではありませんか？どうしてこのように無責任にこのような形で対応するのですか？国会をそんなに甘く見ているつもりですか？

キム・テホ：全くそのようには考えておりません。

チョン・ジェス：それならばこの立場表明について把握なさって（はい）改めて**ミン・ヒョンベ** 委員と我々委員会にHYBEの公式な立場を伝えていただきたい。そうでなければ私ども

はこの部分に関して別の方法を模索せざるを得ないという言葉を、委員長として申し上げることといたします。

キム・テホ：はい、承知いたしました。

チョン・ジェス：両党幹事委員の皆様、少々。はい。証人に関して継続して進行することについて、少々協議をお願いいたします。一旦証人は退席なさって結構です。

キム・テホ：はい、私も早急に状況を把握して確認してみるように...

チョン・ジェス：ニュースで検索してみてください。

キム・テホ：はい、承知いたしました。

チョン・ジェス：委員長として申し訳ないという言葉を申し上げます。少々お待ちいただき、私どもが幹事委員間の協議を経て、今後の進行状況に関して私どもから改めて通知させていただきます。

* * *

チョン・ジェス：はい、整理させていただきます。委員長が与野党幹事委員の皆様と協議した結果、一旦HYBEは証人として引き続きこの国政監査場に残っていただき、そして一時的に国政監査を中断した時間にこの件に関連する状況を把握して、国政監査が再開されたら、その立場を整理して我々委員会に説明することで、このように整理いたしました。以上で証人及び参考人への尋問を全て終了いたします。

09. キム・テホHYBE最高執行責任者の謝罪

チョン・ジェス：着席をお願いいたします。監査を続けることといたします。（議事棒）監査を、質疑を始める前に証人参考人の方々が全て退場なさいましたが、HYBE証人はまだ席にいらっしゃいますね？

キム・テホ：はい、ここにおります。

チョン・ジェス：ではキム・テホ証人、前に出てきて。立場をどのように整理なさいましたか？（はい）状況は把握なさいましたか？

キム・テホ：はい、状況を把握いたしました。

チョン・ジェス：では立場を表明してください。

キム・テホ：尊敬する国会文化体育観光委員会のチョン・ジェス委員長様と委員の皆様、特に本日多くのご助言をいただいたミン・ヒョンベ委員。私が国政監査場にいる間に本社ホームページを通じて掲載された立場表明が不適切だったというご指摘を謹んで受け止め、深くお詫び申し上げます。

本立場表明を掲載することになった理由は、本日の国政監査中に当社に関連する言及について、私たちの立場を問う報道機関からの問い合わせが殺到し、一つ一つ立場をお伝えすることが難しいほど問い合わせが多い状況でした。また、国政監査で取り上げられていない内容と国政監査でモザイク処理された内容がそのまま露出されるなど、オンラインコミュニティで歪曲および拡散される速度が相当だと判断されました。

これにより立場表明の掲載を通じて報道機関からの問い合わせに迅速に答え、正しくない情報が拡大再生産されることを防ごうと緊急に掲載することになったと私が確認いたしました。先ほど申し上げたように、決して国会を軽視しようとしたものではありません。これについて国政監査進行中に立場表明を出したことは当社の明らかな不備です。国政監査の重要性をよく理解しており、国会の権威を損なおうとする意図は全くありませんでした。委員長様と**ミン・ヒョンベ**委員をはじめとする文体委の全ての委員の皆様に改めて深くお詫び申し上げます。

そして、ミン委員がご指摘なさった音楽産業レポートに関連する問題も、今後必ず正していきます。所属アーティストは勿論、全ての方の人権をより一層大切にし、また大韓民国文化芸術の健全な発展のために、リーディングカンパニーとして今後も最善の努力を尽くすことを確実にお約束いたします。重ねてお詫び申し上げます。申し訳ありません。

チョン・ジェス：本日ご出席なさったキム・テホ証人は、HYBEの最高執行責任者の資格でご出席なさったのではありませんか？

キム・テホ：はい、その通りです。

チョン・ジェス：大韓民国の韓流を牽引している1位企業の最高執行責任者として本日の国政監査に出席なさったのですが、今進行されているこの国政監査は憲法61条、国会法127条、国政監査及び調査に関する法律に基づいて進行されているものです。このように憲法と法律に基づいて進行されている国政監査で、我々国政監査委員が質疑を行っており、質疑応答を行っており、そして大韓民国の韓流が世界的な韓流として持続性を持って続いて欲しいというそのような願いを持って、一部問題があるとか、このようなことを指摘している最中にこのような立場表明を出すことは、国会の権威を深刻に損なう行為となり得ます。大韓民国の韓流を牽引するトップ企業として、国会と国政監査に対する姿勢や態度が適切ではないというのが、我々委員と委員会の立場です。

今後は、大韓民国の韓流を牽引するトップ企業にふさわしい態度で臨んでいただきたいと思います。特に、民亨培議員をはじめ、多くの議員の方々からご指摘いただいた事項を反映し、持続可能な韓流の世界的な拡散のために、努力していただきたいと申し上げます。

キム・テホ：はい、必ず心に留めるようにいたします。

チョン・ジェス：イ・ギホン議員、もしかしてこのHYBEと関連して…では、チョ・ゲウォン議員、HYBEと関連することでしょうか？では、HYBEと関連して、はい。

パク・ジョンハ：今、証人が状況を把握してお話しくださったことについては、十分に整理なさったものと理解いたしますが、先ほど出た会社の立場表明の中には、このような部分があります。「一部刺激的な内容だけを切り貼りして、まるでHYBEがアーティストを批判した資料を作ったかのように」この次の文章が重要なのですが、「外部に流出させた勢力に対しては最後まで責任を問います」このような部分があるのですが？この部分についての我々証人の、そしてHYBE側の立場については、先ほど読み上げてくださった部分には出てきていません。

私たちが、私が心配している部分は、実は会社の中で様々な意見があり得るし、先ほどおっしゃったように報道機関からの問い合わせが多くて立場を出したとはおっしゃいましたが、この部分は自由な発言や、あるいは会社内での批判があり得る内容を外部に出す勢力に対しては最後まで責任を問うというのは、非常に脅迫的な表現であり、会社内での自由な討論や内部での議論を妨げてしまうような印象があるのですが。

これについて証人は全く立場を今明らかにしていません。この状況についてどのようにお考えなのか、私たちが納得できるように説明をしていただく必要があると思います。これに関する立場を、委員長にお尋ねいただくことをお願いいたします。

キム・テホ：私が答弁、はい。今おっしゃってくださった内容は当然必要な措置があるべきだと考えております。そのため、今私が本日申し上げたこの内容の後に、直ちに確認して適

切ではない表現あるいは適切ではない反応については、私が責任を持って該当部分について修正を行い、このようなものを共有させていただくようにいたします。

チョン・ジェス：はい。

キム・テホ：私が確認した範囲で少し補足説明をさせていただきますと、先ほど申し上げたように、今、実際の状況と合わない内容がオンライン上で歪曲され、拡散されている部分について言及したかったようです。しかし私はそのような立場表明が出てはいけないと考えておりますし。そうだとしても、今おっしゃったご指摘を謹んで受け止め、私たちがこの部分を反映し、修正させていただきます。

パク・ジョンハ：証人は私がお尋ねすることについて少し誤解をなさっている部分があるようですが、私が申し上げているのは、この「外部に流出させた勢力に対しては最後まで責任を問います」という表現についてです。これは私たちの証人は、ここ国政監査の場にいらっしゃるので見ていないとおっしゃいますが、どのような意図で誰がこのようなことを確認して資料を出したのかについて、その部分を確認して、これにどのような問題があるとお考えなら、これについての措置が必要で、今後はこのようなことがないようにし、今後、仮に中で何らかの調査があったとしても、この部分については会社レベルでの内部者の洗い出しをするとか、このような問題が起きないようにすべきではないかということを私がお尋ねしたのです。そして先ほど状況把握をしたとおっしゃってくださった言葉の中に、この部分が全くないため、これについて私たち証人はどのようにお考えなのかをお尋ねしたのです。

キム・テホ：内部で健全な批判をし、会社の問題点を指摘する方々が保護されなければならないという考えに変わりはないため、今委員がおっしゃった内容は、既に私はその部分について十分に共感していると申し上げたつもりでしたが、私の説明が不十分で私の意図が適切に伝わらなかったとすれば、その部分については申し訳なく思います。そして今後このようなことが弊社がより良い会社になることに私たちが寄与できるよう努力いたしますという言葉も必ず申し上げたいと思います。このように答弁させていただきます。

チョン・ジェス：つまり証人、キム・テホ証人。つまり色出しをするということですか？しないということですか？

キム・テホ：内部者の洗い出しをする考えは全くありません。その部分はご心配なさらなくて結構です。

チョン・ジェス：HYBEと関連してさらに質疑なさる委員はいらっしゃいますか？それでは本日証人としてご出席いただき、委員会を代表してお礼を申し上げます。長時間お疲れ様でした。退場なさっても結構です。

キム・テホ：ありがとうございました。

参考資料：国会での証言・鑑定等に関する法律

国会における証言・鑑定等に関する法律
[施行 2018. 4. 17.] [法律第15621号、2018. 4. 17.、一部改正]

第14条（偽証等の罪）

① 本法に基づいて宣誓した証人又は鑑定人が虚偽の陳述（書面回答を含む）又は鑑定を行ったときは、1年以上10年以下の懲役に処する。ただし、犯罪が発覚する前に自白したときは、その刑を減軽又は免除することができる。

② 第1項の自白は、国会において案件審議又は国政監査若しくは国政調査を終了する前に行わなければならない。